

パステル

もしもに備えを！ 男女共同参画の視点で

防災

減災

阪神・淡路大震災から20年
東日本大震災から4年が経ちました。
災害時に浮き彫りになったのは
高齢者や障がい者など弱い立場の人が
より多くの被害にあっていることと同時に
性別の違いによる苦しみや困難でした。
例えば被災後、仕事を優先せざるを得ず
家族の安否確認すら取れなかったり
極限まで救援活動に対応して
疲弊してしまう男性
家の片付けや家族の世話に終始したり
着替える場所などプライバシーがない中での
避難所生活を送った女性など
性別により被災状況は異なっていました。
今号ではもしもの災害に備えて
男女共同参画の視点に立った
防災・減災対策を特集しました。



CONTENTS

特集 防災・減災
男女共同参画の視点でもしもに備えを!
日ごろの備えと発災後の取り組み P2~5
男女のニーズの違いに配慮する災害時支援が必要 P6
もしもに備えを! P7

インフォメーション P8

女性のための「たんぼぼ相談」 P8